

1. 派遣生の基本情報

氏名： 田中（鈴木） 裕子
所属研究室： 美学芸術学研究室
平成 22 年度時点の学年： 博士課程 5 年
派遣形態： 個人派遣

2. 研究テーマ

日本語：18 世紀フランスにおける音楽文化・思想と自動演奏装置の関係

3. 派遣先での活動

(1) 派遣先の基本情報

フランス・パリ

- ①音楽博物館
- ②工芸博物館
- ③フランス国立図書館

(2) 派遣期間

出発日：2010 年 3 月 31 日
帰国日：2010 年 5 月 31 日
総日数：62 日間

4. 主な研究成果

(1) 当初の計画の概要：

18 世紀フランスの音楽文化・思想における自動機械の位置付けとその関係性を研究テーマとしており、研究には、当時の文献と、そこで言及されている当時の様々な機械装置の調査が必要である。そこで今回は、フランス国立図書館での文献調査と、音楽博物館・工芸博物館での自動演奏装置の観察を目的とした。

(2) 実際に達成された成果：

文献に関しては、18 世紀当時の刊行物を多く所蔵するフランス国立図書館において、上記の研究テーマに関する記述を、当時の定期刊行物から探し出した。特に、日本で所蔵されていない、或いは巻号が揃っていない文献 11 点に絞り、網羅的にチェックした結果、先

行研究においておそらくまだ指摘されていない記述も見つけることができ、この分野の研究を進める上で貴重な一次資料となった。

機械装置に関しては、音楽博物館所蔵の18世紀後期製作のスリネット（小型手回しオルガン）と、工芸博物館所蔵の同時期製作の自動演奏人形を観察し、文献だけでは得られない情報を得ることができた。

(3) 今後の研究展望：

今回の調査で得られた資料や情報は、現在準備中の博士論文やそれを前提とした投稿論文の執筆における重要な一次資料となるばかりでなく、今後の新たな研究テーマのアイデアも与えてくれることとなった。具体的には今後、学会発表、学会誌への投稿、博士論文などにおいてこの度の研究成果を反映させていく予定である。